

The 4th CIRP Conference on Industrial Product-Service Systems 2012 参加報告

首都大学東京 千葉龍介

東京理科大学 木見田康治

2012年11月8日から9日にかけて、国際会議の The 4th CIRP Conference on Industrial Product-Service Systems 2012 (CIRP IPS2 2012) が産業技術総合研究所、臨海副都心センターにて開催されました。本国際会議は、国際生産加工アカデミー (CIRP) 主催のもと毎年開催されており、今回は、首都大学東京、下村芳樹教授と産業技術総合研究所、持丸正明氏が実行委員長を務めた。

近年の製造業においては、環境負荷および資源消費低減の側面から脱物質化の必要性、不況による高い付加価値の創出、そして人々が求める豊かさに対して第三次産業に限らない広義のサービスが果たす役割の重要性、などの複数の理由により、製品とサービスとのこれまで以上の高度な融合化の必要性が指摘されている。このような背景を受け、当会議は製品とサービスの高度な融合をテーマに製品サービスシステム (Product-Service Systems: PSS) に関する情報交換と議論を行うことを目的としている。PSS に関する最新の研究成果を発表する場として、国内外から非常に高い注目を集めている会議であり、日本のみならず、欧州、アジア周辺各国から、数多くの参加があった。PSS に関しては、欧州において近年急速な盛り上がりを見せているが、閉塞感のある現状の日本の製造業においても多くの関連国家プロジェクトの開始が裏付けるように、確実に重要視され始めている。すなわち、本会議は製品の高付加価値化、長寿命化の可能性に関する深い議論を可能とする場であるから、日本で製造業に従事し、マネジメントしている企業人にも重要な会議である。

具体的な会議参加者は、当初 90 人を想定していたが、近年の当該分野の隆盛を反映して、122 人も参加者を得た。欧州・アジアからの参加者と日本からの参加比率はほぼ同率となっており、上記の本会議が果たす役割である、国際的な PSS に関する議論を行うことと日本で開催することによる日本人への貢献という双方が成り立つ、極めて意義深い会議を開催したと言える。

本会議では、以下に示す、1 件の特別基調講演ならびに 2 件の基調講演が行われた。

- 特別基調講演：吉川弘之教授 (科学技術振興機構 研究開発戦略センター長)
- 基調講演①：広崎膨太郎氏 (日本電気株式会社 特別顧問)
- 基調講演②：Horst Meier 教授 (ドイツ・Ruhr-Bochum 大学 教授)

吉川教授には「Service Innovation in the Age of Sustainability」と題して、現代社会におけるサービスの重要性とその方策に関する数多くの示唆に富むご講演をいただいた。広崎氏には「New Dynamism in the Manufacturing Industry: Value-Sharing "Monozukuri"」と題して、ものづくりにおいて重要な観点とそのムーブメントに関するご講演をいただいた。

た。Meier 教授には「Planning and Development of Industrial Product-Service Systems」と題して、現在の PSS に関するプロジェクトや課題に関する重要な研究・開発のご紹介をいただいた。いずれの講演においても、現在の PSS 研究・開発に関して非常に多くの気づきを与える重要な講演であり、参加者には好評を博した。会議におけるセッションは 2 日間で 24 セッションを数え、講演数は 86 と非常に多くの発表・議論が行われた。これは 2 日間で 3 室を使った会議としては最大数に近い数と言え、参加者は多くの講演を聴講し議論に加わった事によって満足度の高い会議となったとの意見を得ている。セッション構成は Service Engineering and Service Science、PSS Design and Development、PSS and Process Modeling、PSS Business Models、Lifecycle Management and Sustainability、Customer Analysis、Strategy、Marketing、and Economics、Future PSS Research Forum など多岐にわたり、参加者には、自身の研究対象分野のみならず、近隣の分野に関する知見を得る貴重な機会となった。